



## 01 日本伸管株式会社

令和3年10月認定



所在地  
埼玉県新座市中野1-10-22

主な業務内容

アルミ管加工

従業員

167人

設立年月

1967年9月

■本社・本社工場

地震  
リスク

最大震度6強、  
液状化の可能性は極めて低い

水害  
リスク

浸水しないが、近隣の中野川は  
3年前に氾濫している

■白河工場(福島県西白河郡西郷村小田倉字大平176)

地震  
リスク

最大震度6強、  
液状化の可能性は低い

水害  
リスク

浸水しない

概要

御社の概要を教えてください。

当社は、アルミのパイプ材/部品の提供をすることで社会に貢献することを企業理念として、1967年より活動しています。当社のアルミパイプ/部品は、光学機器、医療機器、事務機器、産業機器、自動車などの輸送機器の重要部品として、**サプライチェーンに組み込まれて**おります。

1994年より英国へ技術指導している他、海外特許も取得しており、アルミ加工の専門メーカーとして、「小さな世界一企業」を目指して全社員一丸となって頑張っております。

きっかけ

事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

- ①近隣の中野川の氾濫(工場へは30cm程度浸水した)による危機感
- ②光学機器、医療機器などの重要部品メーカーとして、**サプライチェーンの維持**が欠かせないため
- ③災害発生時における従業員・関係者の安全確保のため

苦労

計画策定で苦労した事と、その解決策を教えてください。

当社は、本社工場及び白河工場と拠点が2か所に分かれているため、各々のハザードマップによる被害想定やそれに伴う事前計画や対策などの策定が少し大変でしたが、アドバイザーと相談しながら5時間程度で纏めることができました。

社内外の変化

事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

今までは、**バラバラで対策**(地震対策、水害対策、感染症対策など)していたことが、**この計画で一つにまとまり、何をすべきかが見える**ようになりました。結果、**社内で統一ルール**ができ、どの段階(発災前、発生直後など)で**なにをすべきかが明確**になりました。

今までは顧客企業から「サプライチェーンの維持に関して、BCPがあるか」との質問に答えられなかったが、自信をもって「はい」と回答できるようになりました。

進捗

策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

- ①緊急連絡網が構築できました(海外にある工場も含めて)
- ②事務所の照明のLED化が2022年1月中に完了します。
- ③資金調達の関係では、BCP用の保険(震度6弱以上)で非常に簡単に保険金が下りる制度(震度6弱で25%、6強で50%、7で100%)に加入し、いざという時の備えにしました。

感想

事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

被害をもたらす災害の把握、事前対策、被災時の安否確認方法、事業再開に向けた活動、被害時の財務と、**全体像の見える化**が大きいです。

また、**取引先への安心感**を増強することに繋がりました。

感想

計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

以前からBCP策定の重要性を十分感じていましたが、時間的・知識的に難しいので中々前に進むことができませんでした。今回計画を策定してみると、策定の手引きが充実し、またアドバイザーとも相談しながら意外と簡単に策定することができました。

感想

紹介者からの一言(埼玉県産業振興公社)

同社は当社の会員企業で、強化計画のお話をさせていただいたところ、「以前からBCP計画に関心があったが、中々難しく策定できなかった。近くの川の増水により、工場内が一部浸水した経験もあり心配だった」とのお話があり申込みを受けました。

今回の計画で自然災害や感染症などへの事前対策と発災後の対応策が意外とスムーズに整備された喜んでいただきました。

サッカーでもそうですが、FW(攻めの経営)だけでなく、DF(守り・リスク対応の経営)も必要です。

感染症の影響も厳しくなっているなか、ぜひ多くの事業者がこの計画を策定することをお勧めいたします。